

交流1 図書 11月6日(月)・9日(木)

交流2 交流3

紙芝居 勘定板



ゲストティーチャーはどなた？
お子様に聞く
▶ぜひお子様に聞く

落語家の始祖と言われている「曾呂利新左衛門」のことや、この話の一番の面白さを味わってもらうため「お勘定」の説明をしていただき、本編へ。

はばかりのことを「勘定板」と言う田舎から出てきた旅人と旅宿の番頭との間で、「お勘定」の言葉の勘違いによっておこる騒動を描いた落語です。この勘違いに気が付いた子は肩を震わせて笑っていました。

言葉を上手く使った昔の噺をたくさん聞いて、耳を肥やして、面白さを存分に味わってほしいですね。

EPISODE



この噺の最大の見せ場！笑いすぎてカメラがぶれながらもやっと撮れた一枚です。

「かいけつゾロリ」は、ここからきているのかなんとか。

交流1 交流2 親子活動 12月5日(火) 交流3

題名 しめ縄づくり

めあて 自分たちが育てた稲のわらでしめ縄をつくり、親子で新年を迎える準備をしよう。



ゲストティーチャーはどなた？
▶お子様に聞く
昨年度のV.C.だよりを読む

5年生は、社会科で農業を学びながらスキル科で田植えや稲刈りを体験し、最後に親子でしめ縄づくりをしてお正月を迎えるという一連の流れで稲作文化を学びます。今年度も能ヶ谷西緑地で長年しめ縄づくりをされている方たちに事前準備から当日まで、ご指導とサポートをしていただきました。

お正月飾りについてのお話や、サポーターの皆さんによるデモンストレーションで作り方を教わった後は、大人と子供が4人1組になってわらを編んでいきます。「〇〇さん、幸せにゆ」とかけ声をかけ、肩をよせあいながら縄をなうことがポイントです。サポーターの皆さんが見て回ってくださり、さがりも付けてなんとか完成しました。

自分たちで作りあげたお正月飾りで迎えた新年はどうでしたか？昔から続いている稲作文化の素晴らしさに気付き、大切にしていってほしいです。

(昨年度の様子は、2023年1月号NO.3へ!!)

EPISODE



11/25

デモンストレーションだけでは伝えきれなかったちょっとしたコツを教えてもらっています。

保護者ボランティアの方と一緒に、家庭用にわらを仕分けたり、砦でわら打ちをしたりして事前準備をしました。

交流1 交流2 交流3 総合的な学習の時間(スキル科) 12月22日(金)

題名 留学生交流プロジェクト

めあて 留学生とお互いの文化を紹介し合いながら交流しよう。

国土館大学に通う留学生に来ていただき、お互いの国のことについて紹介したり、体験したりして交流をしました。

最初に、留学生の国について聞いた子供たちは、さらにその国のことを質問して、日本と比べて同じところや違うところを実感していました。

続いて、子供たちはグループごとに自分たちが好きなものについて発表をしたり、得意なことを生かして体験会を行ったりしました。全員で参加できるようにクイズ形式にするグループや、留学生と一人一人が交流できるように配慮をするグループなど、交流を意識した工夫ができていました。

留学生にとっても新たな体験となり楽しかったとのこと。今回の交流を通して、お互いに他国の文化を知ることによって自国の文化をより深く知り、新たな魅力に気が付くことができたのではないのでしょうか。

(昨年度の様子は、2023年1月号NO.1へ!!)

EPISODE



その他の交流内容

昔遊び(かるた)

流行ファッション

日本の食べ物

日本のアニメ

体験型ゲーム(マジカルバナナ、角あて)

来日1年目の中国の留学生が日本語を上手に話していることに驚き子供たち。日本語で発表することに緊張していた留学生ですが、子供たちの積極的な交流で次第に打ち解けていきました。



その他の交流内容

日本のおかし

伝統的遊び(コマ体験)

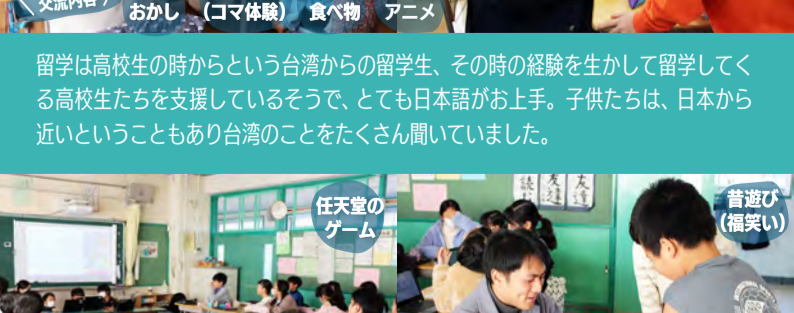
日本の食べ物

日本のアニメ

つるっこ紹介

おりがみ体験

留学は高校生の時からという台湾からの留学生、その時の経験を生かして留学してくる高校生たちを支援しているそうで、とても日本語がお上手。子供たちは、日本から近いということもあり台湾のことをたくさん聞いていました。



その他の交流内容

日本の漫画

日本の俳優

日本のアニメ

おりがみ体験

任天堂のゲーム

昔遊び(福笑い)

留学は高校生の時からで、野球選手だったという台湾からの留学生はいろいろと日本のこともご存知でしたが、「福笑い」は初めての体験だったそうで、この面白さに感心されていました。